

第3回新潟県道路メンテナンス会議 概要について

新潟県道路メンテナンス会議

1. 今後5年間の点検計画について（資料1）

- ・メンテナンスサイクルの基本となる今後5年間の点検計画を各道路管理者で策定し、メンテナンス会議でとりまとめ、確認。

【対象施設（計6施設）：道路橋、道路トンネル、シェッド、大型カルバート、門型標識、横断歩道橋】
※対象施設のうち、施設数も多く重要構造物である道路橋の点検計画を速報値として公表。

2. 地方公共団体への支援について（資料2）

1) 市町村の点検の一括発注について

- ・人員や技術力が不足している市町村における、発注や点検結果の確認などの事務作業を軽減するため、一括発注を実施する枠組みを構築。
（平成26年度：2市 平成27年度：18市町村（予定））

2) 跨線橋点検協議について

- ・JR東日本株式会社新潟支社、えちごトキめき鉄道株式会社と協議し、平成27年度は管内の跨線橋全259橋中、49橋の点検を実施予定。
- ・H28～H30の点検計画は、各道路管理者の点検計画をとりまとめ、各鉄道事業者と今後調整。

3) 橋梁点検講習会について

- ・橋梁点検に関する知識及び技能の習得を目的とした、橋梁点検講習会を実施。（計8回実施（受講数：107人））

3. 新潟県跨道橋連絡部会（仮称）について（資料3）

- ・道路を跨ぐ施設のうち、鉄道橋を除く道路法の道路以外の施設の点検や修繕等の実施により、災害時における緊急輸送道路ネットワークの確保等を図るために、対象施設の管理者と関係する道路管理者が情報共有し、必要な事項について協議調整することを目的とした、「新潟県跨道橋連絡部会（仮称）」を、今年度内に設置する予定。

4. 今後のスケジュールについて（資料4）

- ・1月に点検計画の全国とりまとめ（予定）。
- ・今年度内に、新潟県跨道橋連絡部会（仮称）を設置・開催。
- ・平成26年度の定期点検結果について、次年度の4月を目途にとりまとめ。